

時間言語フォーラム

「言語による時間生成」の研究テーマに関連する成果を発信する場として、標記フォーラムを主催した。新学術領域「時間生成学」の研究者を中心に、言語学、工学、哲学、神経科学、比較認知科学など様々な分野の講演と討論が行われた。これまでに特別企画を含めて17回のフォーラムを開催した。各回のテーマと登壇者は次の通りである。

1. 時間と語彙 (2019/5/18)

鍛治広真 (明海大学)

「ツングース諸語の時間にかんする語彙の体系」

佐々木文彦 (明海大学)

「日本語の時に関する語彙とその変遷」

大角翠 (東京女子大学名誉教授)

「ティンリン語の語彙に見られる時間の観念」

2. 時間順序と因果 (2019/7/6)

越智綾子 (国立国語研究所)

「日本語における時間と事象表現間の時間的順序関係：選択体系機能言語学の観点から」

西山佑司 (慶應義塾大学名誉教授・明海大学名誉教授)

「因果の because と推論の because」

3. 時間と脳と言語 (2019/9/14)

酒井邦嘉 (東京大学)

「脳から見た呼応と併合の時間的処理」

河村満 (奥沢病院名誉院長／昭和大学医学部脳神経内科客員教授)

「「時間」を生み出す脳」

4. 時間・空間・ダイクシス (2019/11/10)

木村英樹 (東京大学名誉教授／追手門学院大学客員教授)

「中国語における「時」の空間性」

林 徹 (放送大学文京学習センター／東京大学名誉教授)

「トルコ語における空間指示と時間」

指定討論者：平田 聡 (京都大学野生動物研究センター)

5. コーパスと言語処理技術によるアプローチ (2020/2/11)
浅原正幸 (国立国語研究所)
「BERTによる文脈化単語埋め込みに基づく意味空間」
吉本啓 (東北大学)
「時間の言語的意味のコーパス化——日本語テンス・アスペクト表現理解過程の解明に向けて」

6. 時間と言語の哲学 (2020/7/18)
青山拓央 (京都大学)
「エピソード記憶と言語：タイプからトークンへ」
小山虎 (山口大学)
「形而上学的時間論の一方法論としての意味論：メタ形而上学的観点から」

7. 時間感覚の臨床研究 (2021/1/23)
二村明德 (昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門講師)
「認知症の時間感覚を考える」
緑川晶 (中央大学文学部教授)
「神経心理学的アプローチから見る時間の認知や知覚の諸相」

8. 機械の時間処理 vs. 人間の時間処理 (2021/7/10)
小林一郎 (お茶の水女子大学)
「自然言語処理研究における時間を捉えるアプローチについて」
中村ちどり (立命館大学)
「日本語の時制演算子タ・ルのスコープから見た主文と従属節の時制解釈」

9. 非言語の存在力——動物の時間と運動 (2021/9/25)
武井智彦 (玉川大学脳科学研究所)
「身体の時間と運動」
平田聡 (京都大学野生動物研究センター)
「チンパンジーの時間」

10. テンスの形態論 (2021/11/13)
松本亮 (神戸市外国語大学)
「ネネツ語 (ウラル語族サモエード諸語) の文法と時間」

小林正人（東京大学）

「南アジアの視点からみたコルワ語（オーストロアジア）の時制組織」

11. 言語進化 x 時間生成（2021/12/11）

岡ノ谷一夫（東京大学）

「コミュニケーションから発生する時間体験」

北澤 茂（大阪大学）

「AI で言語進化と時間生成は説明できるか」

指定討論者 青山拓央（京都大学）

共催：

新学術領域「共創的コミュニケーションのための言語進化学」（研究代表：岡ノ谷一夫）

新学術領域「時間生成学——時を生み出すところの仕組み」（研究代表：北澤茂），A01

計画班「言語による時間生成」（研究代表：嶋田珠巳）

12. アスペクトの形態論（2022/5/28）

梅谷博之（明海大学）

「モンゴル語における接尾辞で表されるアスペクト」

千田俊太郎（京都大学）

「エスペラントの文法的時間表現：動詞派生と分詞を中心に」

13. 時間研究の神経学・神経科学（2022/7/30）

河村満（奥沢病院名誉院長）司会・導入講義

岩田誠（メディカルクリニック柿の木坂）

「脳と時間と時計」

田中真樹（北海道大学医学研究院）

「時間の神経生理学」

14. テンスのない言語における時間（2022/10/8）

安達真弓（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

「ベトナム語における知識と時間：現場性と情報共有」

見倉徳和（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

「シベ語における知識と時間：過去・変化・一時性」

指定討論者：梅田聡（慶應義塾大学文学部心理学研究室）

共催：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して」(DDDLing)

15. 脳のことば、神経のことば——脳内情報の解読と活用 (2022/12/3)

西本伸志 (大阪大学大学院生命機能研究科)

「知覚・認知を支える脳の潜在情報表現」

柳澤琢史 (大阪大学高等共創研究院)

「脳情報を読み取り操作する Brain Computer Interface」

池谷裕二 (東京大学大学院薬学系研究科)

「脳 AI 融合の過去と未来」

主催：

ERATO 池谷脳 AI 融合プロジェクト (研究代表：池谷裕二)

新学術領域研究 時間生成学 A01 計画班 言語による時間生成 (研究代表：嶋田珠巳)

協力：

JST CREST 脳表現空間インタラクション技術の創出 (研究代表：柳澤琢史)

共催：

「次世代脳」プロジェクト

16. 主観と予測の神経科学と言語学 (2023/7/1)

亀田将史 (北海道大学医学研究院 神経生理学教室 助教)

「時間予測における大脳皮質下領域の機能」

林正道 (情報通信研究機構未来 ICT 研究所脳情報通信融合研究センター テニュアト
ラック研究員)

「主観的時間の脳内表現：時空間言語表現との接点」

峰岸真琴 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フェロー/東京外国語大学
名誉教授)

「日本語の主観と予測の表現」

[特別企画] 生成される時間 (2023/7/30)

セッション 1: 「現在・過去・未来～記憶」

池谷裕二 (東京大), 河村満 (昭和大/奥沢病院), 梅田聡 (慶應義塾大), 柳澤琢史
(大阪大)

セッション2：「動物・時間・言語～時間の獲得と進化」

平田聡（京都大），田中真樹（北海道大），伊藤浩介（新潟大），嶋田珠巳（明海大）

セッション3：「時間とはなにか～AI・ヒト・時間の哲学」

北澤茂（大阪大），青山拓央（京都大），橋田浩一（東京大），岡ノ谷一夫（帝京大）

全体討論

主催：

新学術領域研究「時間生成学——時を生み出すところの仕組み」総括班（領域代表：北澤茂），A01 計画班「言語による時間生成」（研究代表：嶋田珠巳）